

福島経済マンスリー

7月の県内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

1. 2017年7月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動の弱さが続いているものの、全体では持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	大型小売店販売額は、百貨店が2カ月ぶりに前年を下回ったものの、スーパーが8カ月ぶりに前年を上回り、合計でも8カ月ぶりに前年比プラスとなった。一方、乗用車新車登録台数は9カ月連続で前年を上回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が4カ月連続、請負金額が2カ月ぶり、保証金額が5カ月連続で前年を下回った。復旧・復興の進捗により公共投資は減少基調となっているものの、引き続き高水準を維持している。		
設備投資	民間・非居住用建築着工は、棟数が2カ月連続で前年を下回ったものの、床面積と工事費予定額がともに3カ月ぶりに前年を上回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲それぞれが前年を下回り、全体では7カ月連続で前年比減少となった。但し、震災前を上回り、年間1万戸を超えるペースを維持している。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比（季節調整値）が△2.6%と2カ月連続で前月値を下回った。業種別の前月比をみると、5業種で上昇し13業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月比△0.01ポイント、原数値が前年同月比+0.01ポイントとなった。一方、雇用保険受給者実人員は前年同月比+5.0%と3カ月連続で前年を上回った。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較等を参考に、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断、鉱工業生産指数は6月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2017年2月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 3.4	△ 1.3	△ 0.7	△ 1.8	△ 0.5	0.7
	乗用車新車登録台数	1.9	13.0	6.6	12.3	15.8	2.9
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	80.6	△ 24.6	△ 25.0	△ 22.0	0.6	△ 4.0
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 35.2	151.5	25.8	△ 60.3	△ 29.1	53.6
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 15.5	△ 19.4	△ 21.4	△ 33.5	△ 32.4	△ 26.4
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 7.9	△ 0.9	△ 0.4	3.5	△ 1.8	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.05	0.06	0.02	0.00	0.00	0.01
	雇用保険受給者実人員	△ 3.2	△ 1.4	△ 2.8	9.2	4.7	5.0

注1 鉱工業生産指数と有効求人倍率は原指数。Pは速報値、rは訂正值。

(2) 前月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2017年2月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 11.3	11.7	△ 4.5	3.7	△ 4.7	6.9
	乗用車新車登録台数	13.4	61.5	△ 51.1	2.0	28.3	△ 16.5
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 26.0	40.2	△ 14.7	38.2	34.3	△ 48.3
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 59.3	65.3	85.7	△ 70.5	10.4	46.8
住宅投資	新設住宅着工戸数	16.1	3.6	24.9	△ 27.1	△ 6.7	23.9
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	1.0	2.4	4.5	△ 3.7	△ 2.6	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.01	0.03	0.00	△ 0.01	△ 0.02	△ 0.01
	雇用保険受給者実人員	△ 0.2	2.8	△ 5.8	24.5	0.7	△ 1.1

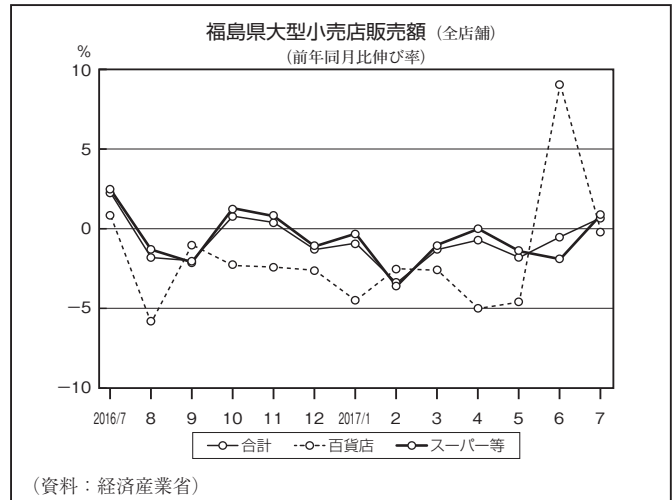
注2 鉱工業生産指数と有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

3. 県内経済動向

消費動向

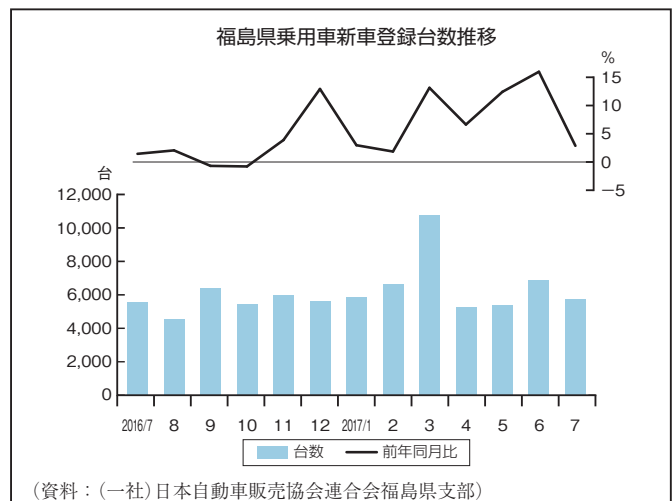
大型小売店：8カ月ぶりに前年比増

7月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で213億48百万円（前年同月比+0.7%）と8カ月ぶりに前年を上回った。業態別で見ると、百貨店は、衣料品、飲食料品がともに前年を下回り、合計では同△0.2%となった。一方、スーパーは、衣料品、飲食料品ともに前年を上回ったことなどから、合計では同+0.9%となった。



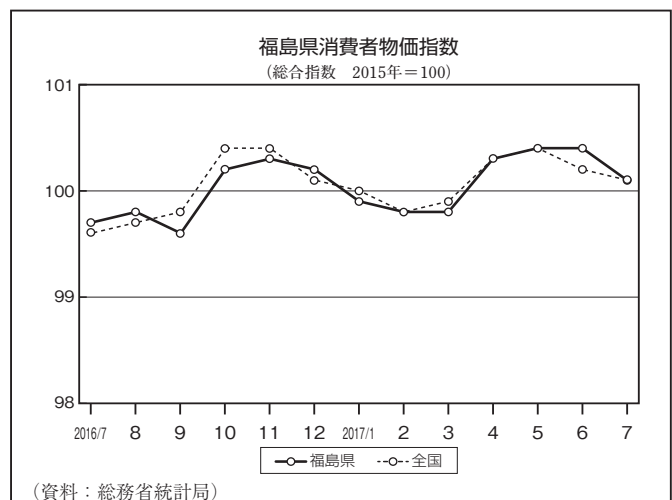
乗用車販売：9カ月連続で前年比増

7月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で5,728台（前年同月比+2.9%）となり、9カ月連続で前年を上回った。車種別で見ると、普通車は1,768台（同△10.3%）と2カ月連続で前年を下回ったものの、小型車が1,810台（同+2.3%）で9カ月連続、軽乗用車が2,150台（同+17.7%）で5カ月連続と、いずれも前年を上回った。



消費者物価指数：前年比上昇、前月比低下

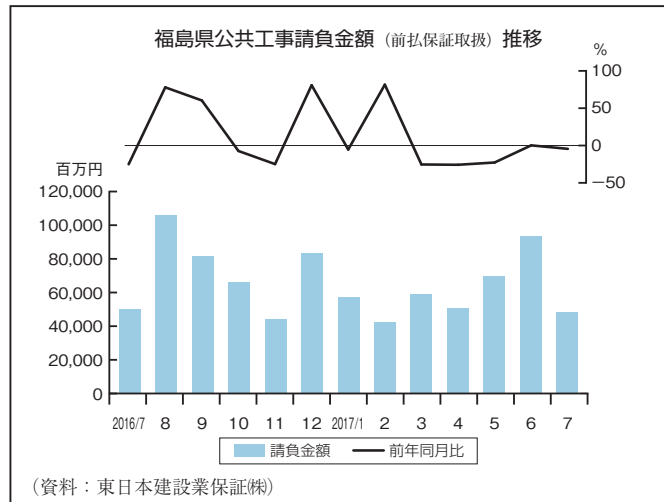
7月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2015年=100）が100.1で前年同月比+0.4%、前月比△0.3%となった。費目別に前月比で見ると、「教養娯楽」の101.6（同+1.0%）など3費目で上昇し、下降したのは「被服及び履物」の97.8（同△4.4%）など5費目となった。



公共投資

公共工事：請負金額は2カ月ぶりに前年比減

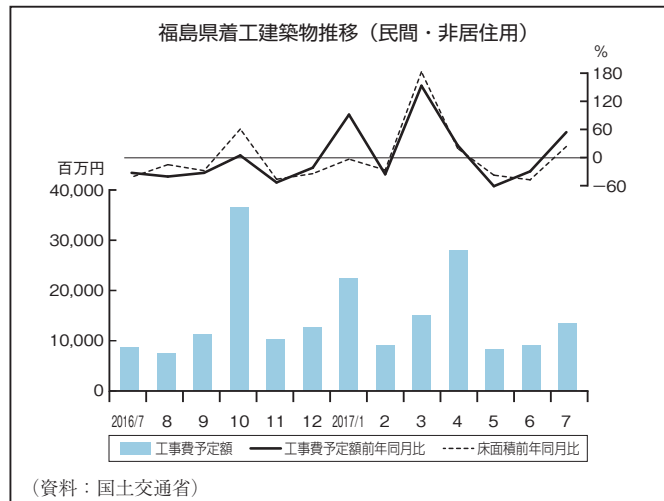
7月の公共工事前払保証取扱は、件数が769件（前年同月比△5.8%）で4カ月連続、請負金額が487億12百万円（同△4.0%）で2カ月ぶり、保証金額が211億96百万円（同△17.5%）で5カ月連続と、いずれも前年を下回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が3カ月ぶりに前年比増

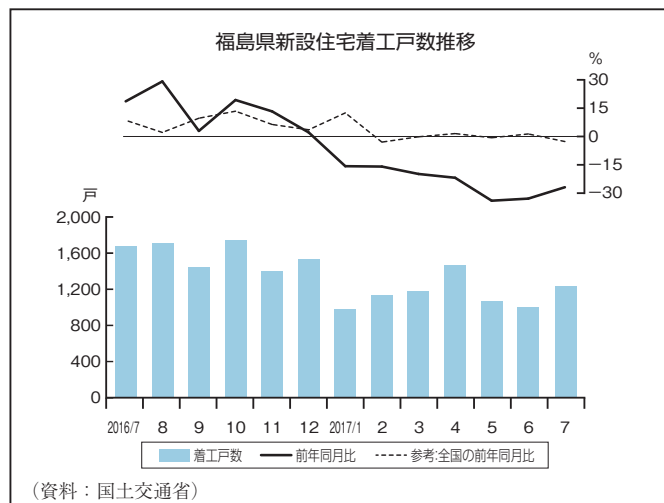
7月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が160棟（前年同月比△13.0%）と2カ月連続で前年を下回ったものの、床面積が60,595㎡（同+23.4%）、工事費予定額が133億49百万円（同+53.6%）と、ともに3カ月ぶりに前年を上回った。



住宅投資

住宅建設：着工戸数は7カ月連続で前年比減

7月の県内新設住宅着工戸数は、1,234戸（前年同月比△26.4%）と7カ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」は543戸（同△24.1%）で4カ月連続、「貸家」は567戸（同△20.9%）で7カ月連続、「分譲」は122戸（同△45.8%）で5カ月連続と、いずれも前年を下回った。

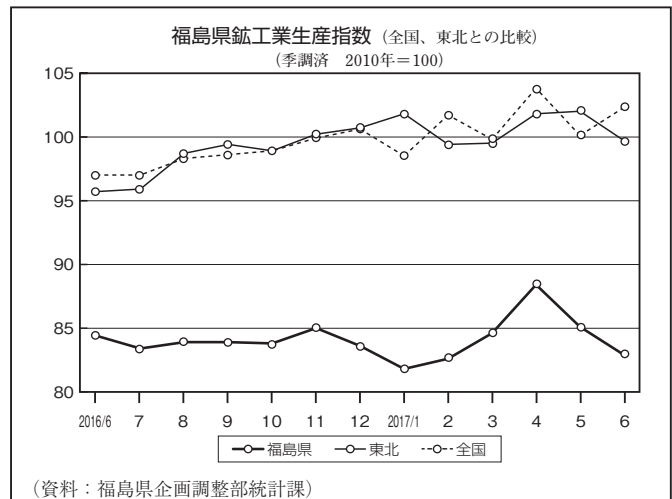


生産活動

※鉱工業生産指数は6月のデータ

鉱工業生産指数：前月比・前年比ともに低下

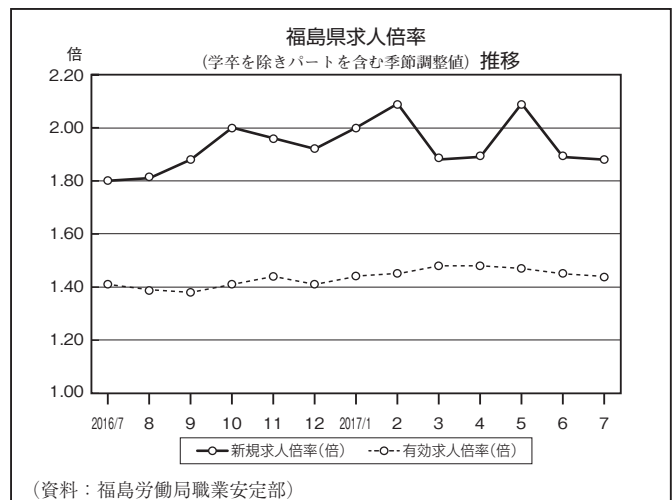
6月の鉱工業生産指数（季節調整値）は82.9で前月比△2.6%と2カ月連続で前月値を下回った。一方、原指数は87.5で前年比△1.8%と2カ月ぶりに前年値を下回った。業種別の季節調整値をみると、「輸送機械工業」（前月比+12.5%）など5業種で上昇し、「食料品・たばこ工業」（同△7.9%）など13業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は前月比低下

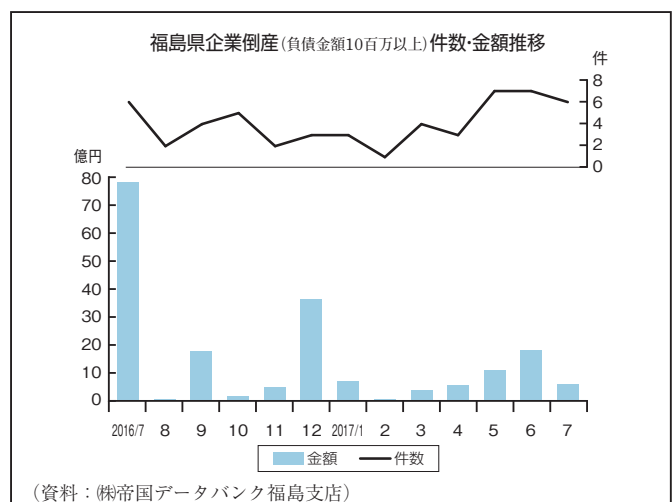
7月の新規求人倍率は、季節調整値が1.88倍（前月比△0.01ポイント）、原数値が2.06倍（前年同月比+0.03ポイント）となった。また、7月の有効求人倍率は、季節調整値が1.44倍（前月比△0.01ポイント）、原数値が1.38倍（前年同月比+0.01ポイント）となった。一方、7月の雇用保険受給者実人員は6,867人（前年同月比+5.0%）と3カ月連続で前年を上回った。



企業倒産

企業倒産：金額は前年比減

7月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が6件（前年同月比±0%）、負債総額が5億77百万円（同△92.6%）と、金額は前年を下回った。業種別では、製造業が3件、サービス業が2件、卸売業が1件となった。

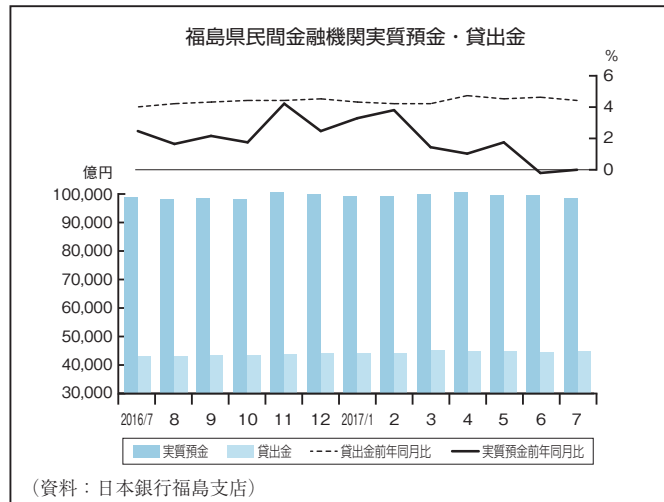


金融動向

資金需給：実質預金残高は前年並み

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の7月末の実質預金残高は、前年並みの9兆9,031億円（前年同月比0.0%）となった。一方、貸出金残高は、4兆4,819億円（同+4.3%）と4年2カ月連続で前年を上回った。

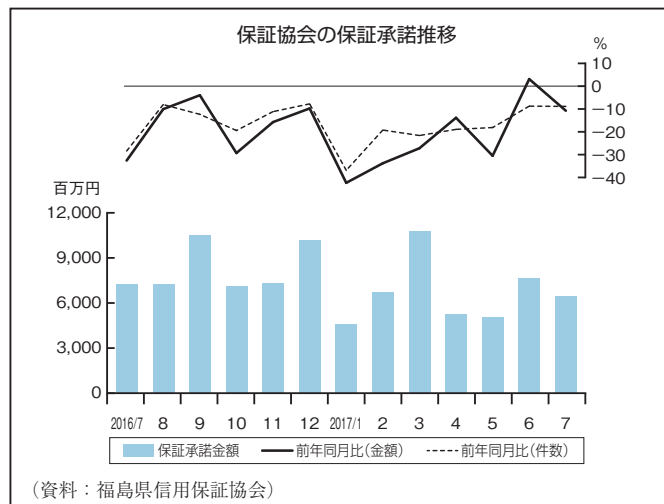
※実質預金は、総預金から手形・小切手を控除したものだ。



保証協会：保証承諾は件数・金額ともに前年比減

7月の保証承諾は、件数が572件（前年同月比△8.9%）、保証金額が64億43百万円（同△10.8%）となった。また、7月末日現在の保証債務残高は、件数35,687件（同△10.3%）、金額3,024億84百万円（同△12.2%）となった。

一方、7月中の代位弁済は、件数が36件（同+9.1%）、金額が3億21百万円（同+53.1%）となった。



4. 業種別動向

消費動向

※企業ヒアリング等による結果

家電量販店 7月の家電量販店の売上高は、エアコンや扇風機の販売が好調に推移したことに加え、洗濯機や冷蔵庫などの白物家電も前年比プラスとなり、合計では前年を10%ほど上回った。

ホームセンター 7月のホームセンターの売上高は、園芸・農業資材や家庭用品などが前年を下回ったものの、日用品や家電製品などで前年を上回ったことから、合計では前年比ややプラスと

なった。

旅行 7月の旅行取扱額は、国内旅行では団体が前年比横ばいであったのに対し個人が前年を下回り、合計では前年比5%ほどの減少となった。一方、海外旅行は個人が前年の約1.5倍で、団体も前年をわずかに上回ったことから、合計では前年比で2割ほど増加し、国内外合計でも前年をやや上回る結果となった。

高速道路 7月の県内自動車道出入台数は、合計で5,535,738台（前年同月比△0.4%）と、3カ月ぶりに前年を下回った。路線別にみると、磐越自動車道（磐梯熱海 IC～西会津 IC）が611,557台

(同+1.7%)で3カ月連続、磐越自動車道(いわき三和IC~郡山東IC)が411,116台(同+1.5%)で5カ月連続と、それぞれ前年を上回ったものの、東北自動車道(白河IC~国見IC)が2,753,016台(同△0.6%)、常磐自動車道(いわき勿来IC~新地IC)が1,760,049台(同△1.2%)と、いずれも3カ月ぶりに前年を下回った。

福島空港 7月の福島空港国内定期路線の利用状況は、23,708人(前年同月比+9.0%)と3カ月連続で前年を上回った。路線別にみると、札幌便は8,803人(同+0.6%)、大阪便は14,905人(同+14.5%)となった。

(国際定期路線は全便運休)

生産活動

※企業ヒアリング等による結果

化学 7月の高機能樹脂は、自動車の部品用素材向けや家庭用製品の受注が堅調で、前年同様の生産となっている。

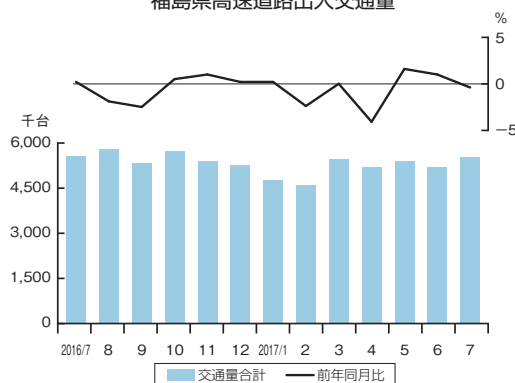
鉄鋼・金属 7月の伸銅品の生産は、半導体向け電子材が前年を15%ほど、自動車向け端子材が前年を10%ほど上回るなど、好調な受注を維持している。7月の建機用鋳造品は、引き続き需要が伸びており、合計で前年の約2.5倍の生産となった。7月の鋳鋼品の生産は、船用部品、陸船用バルブがともに前年割れとなり、合計では前年を3割程度下回った。

輸送用機械 7月の自動車用鋳造品は、トラック用が堅調に推移し、前年を5%ほど上回る生産となった。また、オイルシールは、国内外の自動車向けの受注増などから、生産水準は前年を上回る状況が続いている。

電気機械 7月の電気機械の生産は、変圧器や配電盤、誘導炉など、全般的に前年を上回ったことから、合計では前年比約5割増の生産水準となった。

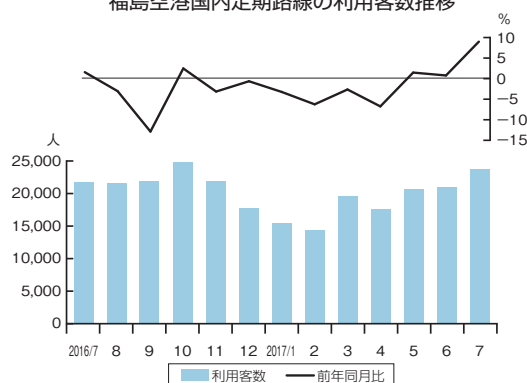
情報通信機械 7月の情報処理装置は、受注の低下が続いたことから、合計では前年を10%ほど下

福島県高速道路出入交通量



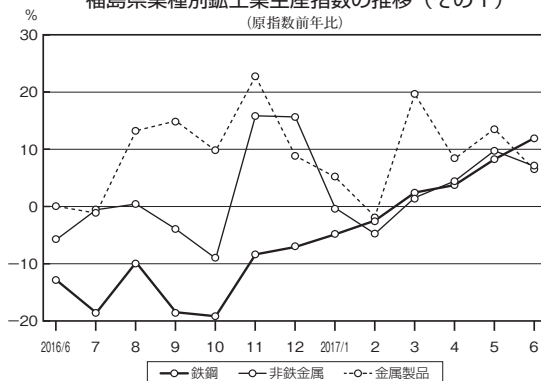
(資料：東日本高速道路(株)東北支社)

福島空港国内定期路線の利用客数推移



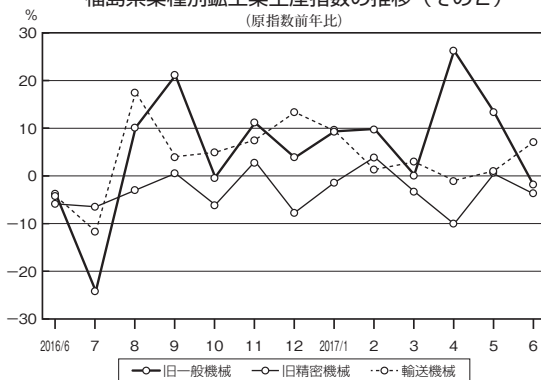
(資料：福島県商工労働部空港交流課)

福島県業種別鋳工業生産指数の推移 (その1)



(資料：福島県企画調整部統計課)

福島県業種別鋳工業生産指数の推移 (その2)



(資料：福島県企画調整部統計課)

回る生産となった。

電子部品・デバイス 7月のLSI（大規模集積回路）の生産は、需要拡大の傾向が続き、前年を10%ほど上回った。

精密機械 7月の医療用内視鏡は、稼働日数等の関係で前年を5%ほど下回る生産水準となったが、国内外ともに受注は堅調に推移している。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国内外の需要が増加しており、引き続きフル稼働の生産が続いている。

窯業・土石 7月の生コンクリート出荷量は、全体で155,532m³（前年同月比△9.1%）と3カ月ぶりに前年を下回った。地区別、民需・官公需別にみると、民需では大規模商業施設などの建設が進むいわき地区と県中地区で前年を上回ったものの、全体では同△11.9%となった。また、官公需では砂防施設や学校建設が進む会津を除き前年を下回り、全体でも同△10.7%となった。

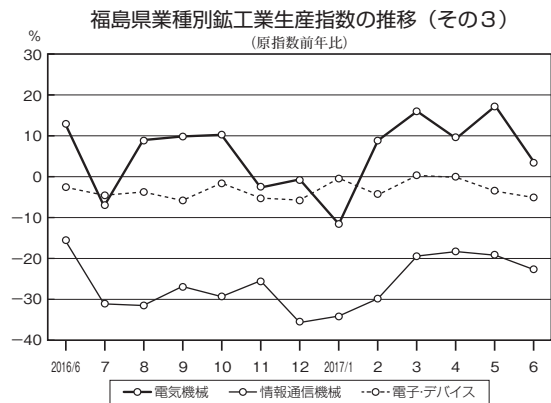
紙・紙加工品 7月の製紙の生産は、ノーカーボン紙が前年を下回ったものの、感熱紙の国外需要増が引き上げる形となり、合計ではやや前年を上回った。

清酒 7月の清酒移出数量は、841kL（前年同月比△9.3%）と2カ月連続で前年を下回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が370kL（同△14.5%）、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が471kL（同△4.8%）でいずれも2カ月連続で前年を下回った。

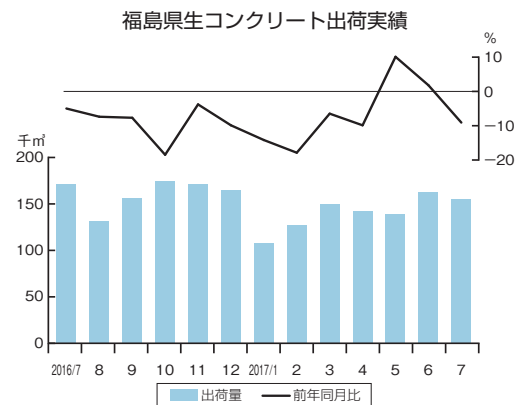
化合繊維物 7月の化合繊維物は、生産量が増加した一方、単価の引き下げなどにより生産額では前年をわずかに下回った。

ニット 7月のニットは、秋冬物製品の受注量が前年を上回ったものの、生産額では前年比ほぼ横ばいとどまった。

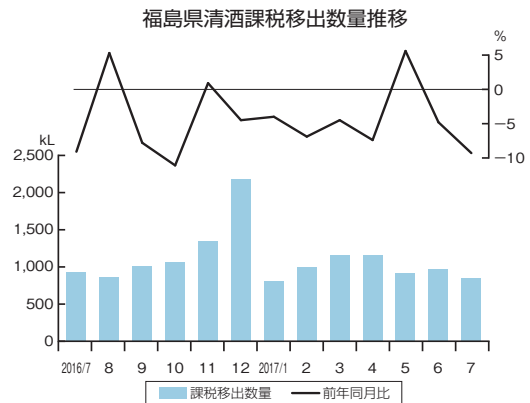
電灯電力 7月の電灯電力販売量は、1,084百万kWh（前年同月比△0.4%）となり、3カ月連続で前年を下回った。



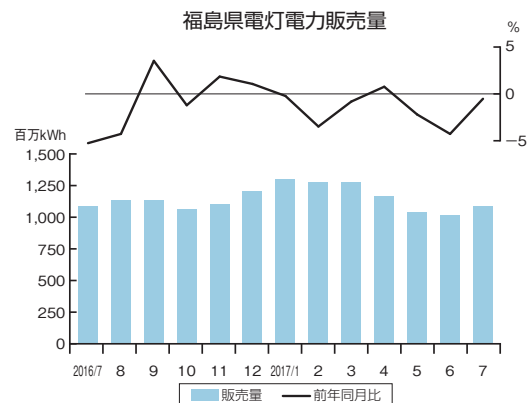
(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力(株)福島支店)